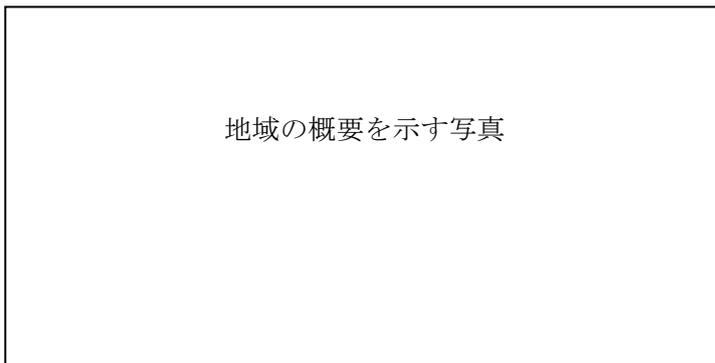


都市計画マスタープラン「地域別構想」(たたき台)について

1 和島地域の概要

- ・ 長岡市の北西部に位置する和島地域は、西山丘陵から流れる郷本川沿いの平野部に、地域の中心である島崎地区の市街地が形成され、その周囲には、なだらかな丘陵地に囲まれた農村集落や田園地帯が広がっています。
- ・ この地域には、地域を南北に縦断する国道116号や海岸部に国道402号が配置され、地域住民の日常生活や広域観光を支える重要な路線となっています。近年、4車線化事業が進んだ国道116号沿道には、商業施設や工場などが立地し、また、JR越後線小島谷駅周辺には、支所、小学校、体育館など、公共公益施設が集積しています。
- ・ 地域資源としては、良寛ゆかりの「隆泉寺」などの名所をはじめ、国道116号沿道の道の駅、オートキャンプ場などの観光施設があります。また、「妙法寺」、「村岡城跡」、「住雲園」など、歴史的資源が数多く残されています。



○地域に関するデータ

- ・ 総面積 31.9 km² (3.8%)
- ・ 総人口 4,803 人 (1.7%)
- ・ 世帯数 1,291 世帯 (1.4%)
- ・ 年少人口比率 13.4%
- ・ 高齢人口比率 27.6%

(出典) 平成17年国勢調査
※カッコ内は市全体に占める割合

2 現状と課題

○良寛の里にふさわしいまちづくりの課題

- ・ 島崎地区の「はちすば通り」では、良寛ゆかりの歴史的資源や板塀・漆喰仕上げの街なみが連続し、これらを活かした街なみ環境整備が既に始まっています。今後も、市民との協働による地域づくりを進め、さまざまな取組みを実現していく必要があります。
- ・ 国道116号の整備に伴って、「道の駅 良寛の里わしま」が平成16年にリニューアルオープンし、これを契機に、和島地域の観光客数が増加傾向にあります。今後は、さらなる観光振興を図るため、道の駅、「良寛の里美術館」などを核として、既存の観光施設の活用や新たな観光資源との連携が必要です。

○道路・交通ネットワーク上の課題

- ・ 和島地域と長岡地域や隣接する市町村を結ぶ国・県道は、住民の通勤・通学などの日常生活はもとより、広域観光を支える重要な路線であることから、道路幅員の拡幅や歩道

の整備など、さらなる道路機能の強化が必要です。

- ・ 県道長岡和島線、県道寺泊西山線などの幹線道路や幅員の狭い生活道路では、歩行者の安全性を確保する歩道の整備や交通安全施設の設置が必要です。
- ・ 生活道路においては、救急車や消防車等の緊急車両が入れない箇所があることから、これらの通行を確保する必要があります。
- ・ 和島地域の一部には、バス交通の空白地域が見られ、高齢者や学生など自動車を運転しない住民の交通手段を確保する必要があります。

○生活環境上の課題

- ・ 西山丘陵から流れる郷本川水系の低地部では、近年、集中豪雨の際に、浸水被害が発生しており、雨水対策に向けた取組みが必要です。
- ・ 郷本川の河川改修により河道が切替ることに伴って、島崎地区においては、旧河道の活用が課題となっています。

○地域産業の活性化に向けた課題

- ・ 和島地域では、年々人口が減少してきており、とりわけ若年層の人口流出が顕著です。地域における雇用の場を創出し、定住人口の確保につなげるため、都市整備の面からも地域産業の活性化を支援する必要があります。

○環境保全と土地利用の課題

- ・ 新たな土地利用の展開が見られる国道 116 号沿道では、各種開発事業と里山・農村環境との良好な調和を図るため、適切な立地・開発誘導が必要です。

3 地域づくりの方針

<地域の将来像>

今後、地域委員会や策定委員会の議論を踏まえ、記述する予定

○歴史的資源を活かした施設整備

- ・ 島崎地区の「はちすば通り」では、良寛の里にふさわしい地域づくりを推進するため、道路の美装化や市民との協働による修景等の整備に取り組めます。また、周辺の観光施設との連携強化を通じて、整備効果を一層高めます。
- ・ 貴重な地域資源である「八幡林遺跡」、「妙法寺」、「住雲園」の保全・活用について検討します。

○観光振興に向けた施設整備

- ・ 「道の駅 良寛の里わしま」、「良寛の里美術館」、「歴史民俗資料館」など、既存の観光施設については、観光客の案内誘導やさらなる施設の活用などを通じて、機能強化を図ります。

○幹線道路及び生活道路の整備

- ・ 和島地域と周辺地域を結ぶ、県道長岡和島線や県道与板北野線などの幹線道路については、さらなる道路機能の強化に向けて、道路拡幅等を促進します。
- ・ 身近な生活道路や通学路では、道路照明灯などの交通安全施設を設置するとともに、歩道の整備を推進します。

○公共交通ネットワークの充実

- ・ バス交通の空白地域においては、新たな交通手段の導入を図るため、住民が主体となったバス運行などを支援します。また、一定の利用がある既存のバス路線は、路線の利用実態に応じ効率化を図りつつ、運行を維持するとともに、運行時間の延長などを検討します。
- ・ 長岡駅から寺泊港に至る各地域の連携強化とともに、豊富な地域資源を活かした観光ルートを創出するため、シャトルバスの運行を検討します。

○安全・安心な都市基盤の整備

- ・ 郷本川水系の低地部などにおける浸水被害の軽減を図るため、郷本川の河川改修を促進するとともに、道路側溝等の整備を進めます。
- ・ 幅員の狭い道路に面した地区においては、緊急時に迅速な対応ができる安全・安心なまちづくりを検討します。

○水辺空間づくりの推進

- ・ 郷本川水系の河川改修にあたっては、住民や観光客が身近に自然と親しむことのできる場の創出に向けて、周辺の自然環境や景観に配慮した親水護岸の整備を促進します。加えて、「はちすば通り」と郷本川の旧河川敷を結ぶ歩行者・自転車ネットワークの整備を検討します。

○計画的な土地利用の誘導

- ・ 主要幹線道路である国道 116 号沿道では、産業振興とあわせて良寛の里にふさわしい田園・里山環境の保全を図るため、必要に応じて適切な土地利用を検討します。
- ・ 定住人口の確保と雇用の場を創出するため、必要に応じて適切な土地利用を検討します。

○自然環境の維持・保全

- ・ 平野部に広がる田園地帯や、西山丘陵における県内有数の人工林地帯(三島林業地)は、地域の農林業を支えるとともに、豊かな自然環境を形成する貴重な資源です。このため、今後もこの豊かな自然環境を維持・保全します。
- ・ 点在する農村集落においては、風雨や雪から家屋を守ることを目的として、屋敷林が設置されています。この屋敷林は、美しい農村景観を形成する重要な要素であることから、今後も維持・保全を図ります。

